

WHO Report

ウォーキング・ホリデー・オギクボ

2023年2月号

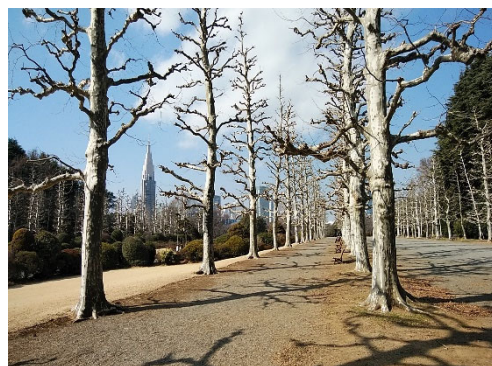
NO. 255

東京西ワイスメンズクラブ・東京YMCA杉並センター

神宮内苑と新宿御苑の”2つの春“

北風の吹け抜ける日も、日だまりを楽しめる日もあります。2月25日は、どんな日になるでしょうか。

今回は、神宮内苑と新宿御苑の春を歩きます。明治神宮は、明治天皇、昭憲皇太后を祀る神社として1920(大正9)年に完成。同時に全国から献



木された10万本の樹木が植樹されました。ほとんど人手を加えず、100年の歳月を経た林相変移によって、一部の施設・庭園を除くと、自然林の様相。梅一枝にも厳しさ感じます。一方、新宿御苑は、1906(明治39)年、皇室庭園として生まれ、農事試験所となり、戦後は「国民公園」として開放されて、子どもも大人も、学べ、楽しめます。

249回WHOウォーキングのご案内

期日：2023年2月25日(第4土曜日)

コース：JR山手線・原宿駅ー明治内苑・南参道ーフォーレストカフェー大鳥居ー清正井(通過)ー御社殿・神楽殿ー西参道ー宝物殿前大芝生ー北池ー北参道出口ー新宿御苑千駄ヶ谷門ー中の池ー擬木橋ープラタナス並木ー玉藻池ー新宿御苑ミュージアムー風景庭園ー中央休憩所(解散)それぞれ温室など自由散策して、3つの門から出て最

寄り駅に。

集合・出発：JR山手線・原宿駅西口(鳥居口)
10:00

受付：初回の方は、必ず連絡先住所、電話番号を書いてください。これまで書いていない方もお願いします。

解散：新宿御苑・中央休憩所 14:00頃

携行品：名札、マスク、健康保険証、弁当、飲料
参加費：300円、交通費、施設利用代500円(団体400円、65歳以上250円)は各自負担。

初参加の方は、名札代200円。(必ず装着してください)。

みどころ

明治神宮内苑:江戸初期には熊本藩主加藤清正の下屋敷。2代目忠広が改易となり、以後彦根藩井伊家の下屋敷であった。

明治神宮外苑:51万㎡あり、かつては帝国陸軍の青山練兵場。明治神宮造営にあわせて洋式庭園として、絵画館、スポーツ施設が建てられた。

大鳥居:高さ12m、柱間9m、柱径1.2m、笠長17m、木造明神鳥居としては、日本最大。

清正井戸・菖蒲園:清正が掘ったとされる井戸は名水として名高いのちに泉水を引いた菖蒲田も有名であるが、今回は花期でないので立ち寄らない。

宝物殿:我が国初期のコンクリート建築で国の重要文化財。工事中のため休館中。

新宿御苑:信州高遠藩主内藤家の下屋敷の一部が維新後、農業試験所となり、1879(明治12)年、宮内庁の植物御苑となった、以後西洋野菜の栽培、洋風庭園造園など実験的な試みも行なった。戦後は『国民公園』として一般に開放されている。サクラの名所として知られ約75種、約1,500本が花を競う。

世田谷は千代田区と同じ 城郭が中心だった町

—1月ウォーキング報告—

WHO 1月例会は、17日に世田谷区の中心部を歩きました。世田谷区は、区を代表するJRの駅がありません。中世に吉良家によって築城された世田谷城を中心として発展した町です。それは、千代田城を中心として城下町を形成した千代田区に似ているのかもしれませんが。

今回は、吉良家と江戸時代に領主となった彦根藩井伊家の時代を歩きました。そして、寒さを避けて、世田谷プラネタリウムで、「冬の星座」を観るという企画でした

集合は新宿から便の良い小田急線豪徳寺駅。南関東以外は大雪の予想にもかかわらず40人が集いました。むしろ歩きやすい陽気でした。

かつては「玉電」と呼ばれた2編成の可愛い電車、東急世田谷線で宮の坂へ、ここには源義家が奥州遠征の勝利を感謝した世田谷八幡宮がありました。城山通りを歩き、豪徳寺へ。

豪壮な寺院でした。かつては世田谷城の中にあつた吉良家の祈祷所が由来で、井伊家の菩提寺に

なつて栄えたようです。幕末の大老、井伊直弼をはじめ彦根藩歴代の藩主の墓所があります。本来主役である世田谷城城趾は、石垣、空堀などが僅かに残るのみ、むしろ城を取り巻く形の烏山川緑道が城の堀として、往時のスケールを伝えていました。ここで、昼食をとり、松陰神社へまわりましたが時間がおしていたため、神社に入っただけで、再び、玉電・松陰神社前駅から、上町駅へ。お目当てだった、代官屋敷の見学をやめて、プラネタリウムに急ぎました。

ここに入場出来るかどうか、行ってみたのです。大人の時間は13:30分から。コロナの感染予防のため、定員の半分しか、しかも団体予約は出来ない。窓口に行かないと入場出来るかどうか分からないという条件でした。新年の運試しのつもりでしたが、空席は35だけ。途中で帰られた方、辞退された方、スタしてくださる方、プラネタリウムが初めてだった方からはものすごく感動したとの声を後日聞きました。リクライニングで見やすく、寝息を立てた方もおられたようでした。(吉田明弘)

WHO今後の計画

今後の予定を次のように準備しています。新たな情報によって、期日などを変更することもあります。直近の『レポート』でご確認ください。

3月予定

城南五山の御殿山、島津山などの明治時代に開けた住宅地などで花見をして、東海道品川宿跡を歩きましょう。

期日：3月25日(第4土曜日)

4月予定

習志野・谷津干潟は、年間120種もの野鳥が確認される野鳥の楽園。渡り鳥の最も多い時期のバードウォッチング楽しみましょう。

期日：4月22日(第4土曜日)

5月予定

武蔵野のススキの原を沃野に変えた一筋の野火止用水と静まりかえる古刹平林寺。緑と花の時期が最高です。

期日：5月27日(第4土曜日)

6月予定

東京の台所、築地市場から移転した豊洲市場は軌道に乗ったのでしょうか。緑のウォーターフロントを合わせて歩きます。

期日：6月24日(第4土曜日)